

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 5年 3月 1日 事業所名 放課後等デイサービス ラディアントステップ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		必要でない物品を片付け、出来る限り床面積を広く取っています	利用定員10名で適切な広さではあるが、コロナ禍においてソーシャルディスタンスの確保に配慮しながら実施しています
2	職員の配置数は適切である	○		配置基準を満たした上、心理担当指導員を配置しています	配置基準を満たし4名～5名で支援に当たっています。また外出時は5～6名で支援を行っています
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		配慮が必要な利用者に対して、その都度支援を行っています	玄関先に階段があるが、建物の構造上完全なバリアフリー化は難しい。十分に配慮し支援を行っています
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		個別支援計画書を見返し、評価、改善、再計画、実施を行っています	少なくとも半年に1回、もしくはその都度見直しのタイミングでPDCAサイクルに則った利用計画の見直しを支援員全員の意見を反映し行っています
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者評価アンケートの内容を共有し、業務改善に役立てています	アンケート結果を真摯に受け止め、改善に努めています
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価・保護者アンケートを3月にHP上にて公開しています	自己評価結果、保護者評価結果を毎年3月にHP上にて公開しています。評価アンケートは、100%回収出来ています
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	社内において、他施設の職員による評価、アドバイスをを行っている	第三者による評価は、実施してません
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修を毎月行っています	コロナ禍において社外研修の機会は減ったが、リモートによる研修が増え活用しています。毎月の社内研修、児発管研修を実施しており、職員の学びの場を確保しています
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時のアセスメントを丁寧に計画の作成に役立てています	アセスメントの取り直しを、小6、中3、高2時に行い、併用する自社の事業所間で共有しています
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している	丁寧な聞き取りを心掛けています。アセスメントの内容に関しては、改善を重ねています

11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動計画を全員で話し合っています	次月の療育予定を全職員で行っています。令和4年度は田植え、種植え、野菜の収穫等の農作業に力を入れました
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動がマンネリ化しない様工夫を行っています	運動療育、生活支援、学習支援を基本に、その他外出や自然体験、食育等を取り入れ、同じ療育であっても取り組み方に变化をもたせ、レベルアップ出来る様工夫を行っています
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日と休日で活動内容を工夫している	平日は、運動療育、生活支援、学習支援をバランスよく行い、休日は外出や食育。令和4年度の夏休みは個別の取り組みに力を入れました
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団療育と個別活動を上手く組み合わせ支援を行っています	療育活動は、基本的に集団療育であるが、取り組みの内容やレベルは個人に合わせて設定し、集団療育の中においても個別の目標をクリア出来る様計画を立てています
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、療育ミーティングを行っています	療育活動の進め方については、事前にリーダーを中心に計画を確認し各支援員が役割を理解して取り組んでいます
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎終了後、1日の反省を行う	送迎後の帰社時間にもよるが、出来る限りの振り返りを緊急性のある物から行い、緊急性の無い物に関しては、翌日ミーティングの中で前日の振り返りを行う様にしている
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳と活動日誌、ミーティングノートへの記録を行っています	連絡帳には、取り組みの内容、様子等を出来るだけ詳しく記入するようにしている
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている	支援相談員のモニタリングにおいては、計画の内容、改善した点、問題がある点、通所の様子等についての的確に伝えられる様準備しています
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		利用児の成長、自立を目指した支援を行っています	ガイドライン総則の基本活動を常に意識して活動計画を作成しています
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています	児童発達支援管理責任者が参加しています

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		次月の予定を前月末に提出し情報を共有しています	各学校の年間計画を収集し、特別な行事などについて把握を行っています。利用のキャンセル、追加利用等予定の変更は、特別支援学校は各御家庭から行ってもらい、各学校とは電話、FAXにて連絡を行っています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアを必要とする利用児は居ない	服薬については、保護者から十分に説明を受け適切に与薬出来る様にしています
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		スマイルブック（大垣）や就学前の記録の提出をお願いしています	スマイルブック（大垣市）や各市町村が実施している記録を閲覧させていただき、これまでに発達支援事業所において受けて来られた支援内容について把握を行っています
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業後の移行先への情報提供を行っています	卒業後の移行先への情報提供は、先方からの申し出により実施しています
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		発達障がい者支援センターの研修に可能な限り参加している	開催される研修には出来る限り参加しています
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		親子活動を実施し、障がいの無い兄弟たちとの交流を行いました	親子活動に兄弟たちの参加を積極的に呼び掛け交流を図りました。高校生が主催する活動に参加し交流を行いました
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		参加依頼がある場合は、積極的に参加しています	開催されれば積極的に参加したいと考えています
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		自宅への送迎の際、子供の姿を伝え合い、共通理解を図っています	その日の活動内容だけでなく、予測される課題や子育ての不安、取り組みへの不安等に寄り添い、御家族の思いを反映させながら、現状に合った支援を行っています
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		不登校、基本的生活習に関わる事案に対して対応を助言しました	基本的な生活習慣や不登校に対して助言を行い、御家庭においての取り組みを支援しています
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際、十分に説明を行っています	内容に変更が生じた場合はその都度訂正しています

31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて助言を行っています	相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、家族に寄り添いながら助言を行っています
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	令和2年から、コロナ禍により開催出来ていません	令和2年からコロナ禍により開催出来ていません。今後、全体として開催するか、各事業所単位で行うか検討します
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合には、全職員で共有し原因や解決策を話し合い、報告書を提出しています	苦情（ご意見）があった場合は、全職員で共有し原因や今後の改善点等について話し合い、改善について御家族へ伝え、記録を残すようにしています
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月発行の新聞と予定表の配布、ブログを更新し発信しています	毎月発行している新聞と毎日の活動内容をブログで紹介しています。
35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分注意を行っています	個人情報の取り扱いには、十分に配慮を行っています
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用児にも、保護者にも分かりやすい伝達を心掛けています	利用児に分かりやすい伝え方で意思疎通を行っています。保護者に対しては、連絡帳、対面、電話連絡にて伝え合っています
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域に出向き、農作業を通して交流を行っています	地域において農作業に従事されている方の畑を手伝わせてもらったり、収穫体験を定期的に行っています
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		全ての対応マニュアルを作成しています	全ての対応マニュアルを作成し、年間2回の訓練を利用児と共にを行っています。保護者へは予定表（活動内容）に明記し伝えています
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間2回、火災、水害、通報訓練を実施しています	火災避難は近くの広場へ徒歩にて非難。水害避難は車にて南中学校まで避難訓練を行っています
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全職員対象の虐待防止研修会を実施しています	今後も虐待防止研修を行っていく予定です
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、対象となる利用児は居ない	現在、対象となる利用児は居ないが、今後やむを得ず身体拘束が必要となる場合は、決められた手順を踏み、さらに日々の様子を適切に保護者に伝えられる様にしたい

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメント時にアレルギーについて確認している	アセスメント時にアレルギーについて確認を行っています
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット・事故報告書を作成し共有している	ヒヤリハット並びに事故報告書にする該当する事案が起こった場合は、内容について職員間で共有し報告書を作成、管理職に提出しアドバイスをもらっています。